

10A 病棟ってどんなところ？



10A 病棟は腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、リウマチ科、の内科系混合病棟です。内視鏡治療・化学療法・透析などが必要な患者さんを受け入れ、抗がん剤や中心静脈注射の管理、経管栄養管理、周術期の管理、腹腔穿刺、腎生検、腹膜透析など、様々な治療や検査に伴う看護ケアや看護技術を実践しています。



呼吸器内科の部長と 10A 病棟のスタッフ。マスクの下は東京一の笑顔です。

10A 病棟では、ハラスメントがなくなるよう、様々な取り組みを行っています。例えば、自分からはなかなか言い出しづらいハラスメントについて、無記名でのアンケートを行い、実態を把握しています。アンケートの結果をふまえ、ポスターを作成し、時にはスタッフに声をかけ注意喚起を行っています。

誰もが自分の考えや意見を躊躇なく言い合える心理的安全性の高い病棟を目指しています。





新人看護師と指導者の関係も良好です。指導者は看護ケアや技術面の指導だけでなく、精神的な支えになれるよう、頻繁に声をかけコミュニケーションをはかっています。ときには厳しいことを伝えたり、難しい問題を一緒に考えたりすることで、個々の看護観を磨いていけるよう心掛けています。



混合内科で看護師としての基礎をしっかり固めたい方、
終末期や緩和ケアに興味のある方、透析や化学療法、内視鏡に興味のある方、お待ちしております。

